

Wendy²¹

ウエンディ21は障害のある人の社会参加を支援するグループです。

つとむ
勉君と白うさぎ



羽季 のぼる

噴水の虹



松本 聡子

今年は、占部君（ペンネーム羽季のぼる）とウエンディの開設当初からのメンバーさとちゃんの本を発行する事ができました。今後も色々難しいこともあります。本だけでなく、電子出版とかにもチャレンジしたいところですが、それはまた未来の目標として、当事者出版を続けたいと思っています。

少年よ大志をいだけ!

副所長 中西克徳

僕はもう40を超えるおっさんで少年ではありませんが、やはり生きていく上には何か目標というものが必要だとこの頃つくづく感じます。

そこでどこまでいけるかは別にして、行けるところまででは行こうということ、目標を定めました。僕は国連に所属して国際的な人権活動を展開するという夢もっています。もちろんはるかな夢のようなはなしで、いま現在はTOEIC640点からの英語スタートです。これからは日々英語の勉強に精進したいと思います。次にもシダメだとはつきり悟った時点で、ハードルを下げてNGOに所属するか、自分で立ち上げるかしたいと考えています。それにもやはり英語に精進することをはじめの一步になります。

いやいや、別に今のままでもいいのですよ。おかげさまで病状も安定して安穩と暮らしています。しいて言えば精神保健福祉士の講座

に挑戦しているぐらいでちよいどいいかもしれません。でも残りの人生どうにでも生きることができのです。人は皆、自由なんだから! やりたいことがあるのなら可能性を捨てずに挑戦しましょう! 無謀だったっていいじゃないですか? あたつてくだけるです。

だれかのことばにもありますよね、挑まなかつたので後悔するより挑んで失敗した方がいいと。

恋愛だってそうかも知れませんが、告白しないでなやんでいるより、告白して振られた方が気持ちがいいのではないのでしょうか?

ようは勇氣の몬드いですよ。勇氣! 勇氣があれば病氣もなおります。

「元氣があればなんでもできる! ダあ!」ア
ントニオ猪木

聞き間違い

トレーニングパンツ





清長さんが「かかしワールド」で流行りのスマホで撮った写真です。



雨の日のウエンデイ2階から撮りました。

近況報告

所長 米島健二

皆、それぞれマイペース。苦しんでいる人も楽しんでる人も。毎日が苦しい、毎日が楽しいという訳ではないでしょう。今はそれでいいと思っただけです。しかし副所長も書いているように、継続した活動をするには、目標の設定が必要です。それも地に足のついた目標までのプロセスが明確な物でなければいけません。そして日々の数時間でもそれに向かって行動しなければなりません。もちろん、休日や休息の時間、余暇の時間も大切です。肥やしです。

人間有難い事に、さして大きな目標など掲げなくてもその日一日、余暇を楽しく暮らしていければ、それが幸せという事もあるのですが（笑）。

過去は過去の事として、良い思い出だけ繰り返し思いだし忘れないよう上書き保存していけば良く、嫌な思い出は、その経験があるから現在の自分を強くなつたとポジティブにこれも上書き保存してしまっておきます。毎日毎日、良い思い出として残るように、未来に向かって行動を起こしていく事が大切でしょう。

さて、ウエンデイがいつも歌っている社会参加も確かに大きな目標ですが、皆がバラバラに動いているうちは組織としての進歩は遅くなってしまう。

そろそろ組織としての皆の役割という物を作っていかねばなりません。ウエンデイの目標として掲げてある「皆が支えあい安心して暮らしていける仲間作り」そのための事業「インターネットや出版等での情報発信・出版事業」「地域活動支援センターの事業」「ピア・カウンセリング事業」「ピア・サポート事業」「ピア・ヘルパー事業」やりたい、やってみたいというメンバーが一人でもいる限り、目標へ向かっていく。そしてその一人を周囲がサポートしていく、自然な流れでそうやっていく物だと思ってください。

自分の夢に向かって頑張る事は誰でもできますが、それを、家族のため、仲間のため、社会のためとして頑張るには、相当根性が要ります。一番理想的なのは、自分のために頑張る事が社会のため、仲間のため、家族のためとつながる事だと思えます。

私たち人間には寿命が限られています。法人には、決まった寿命というのはありません。後世に社会のために役立つ法人作りというのが、まだ生まれただけのウエンデイのメンバーの手にかかっているのでは、ないでしょうか。

精神障害になって、会社を作るといのが、私の夢でしたが、今後は、私たちの活動が社会的に役立つようなNPO（特定非営利活動）法人に成長していつてほしいと思っています。

無意識に…



おきない



不思議な世界の体験記（第二十六回）

占部貴之

て題名だけでも書いて、もう少し頑張つて欲
しかったです。川島君！」

彼はその日、久しぶりに、元気な仲間の顔を

見て、始業式に臨み、二つの物語を提出して、

家に帰った。

翌日。学校の授業で、先生が言った。

「夏休みの物語の宿題は、皆さんに取って

は難しい課題だったと思います。その宿題を

して来たのは、わずか四人しかいませんでし

た。二学期早々、先生は、皆さんを怒りたく

はありませんが、書けなかった人にも、せめ

勉は、先生に名前を指されて緊張した。

「その中でも、あなたは良く頑張りました

ね。川島君の物語が、一番良く書けてました」

先生はそう言うど、

「では、一時間目は、物語を書く時間にし

ます。物語を完成させてない人は仕上げて下

さい」

と言って、みんなに紙を配っていく。

つづく

Chongja より (<http://ameblo.jp/chongja/>)

ototsui-cha-chatown-no-aunokoto

2011ねん10がつ30にちのどようびのよるちやちやtownnoaun
o-omiseno hitokara-sokonokoreano-sy
ougaishahaano-omiseniyouganainonar
adotsukanikuka-moukonocha-chanoaun
omiseni kitaraikanbaitoiwaretakotoga
atamanikiteirukotogatsuraidesukyomo
asakarasugukusonokotogatsuraidesu-m
onidotoaunoomoseniikanaiyounisuruko
todesu

ピア・カウンセリング 北九州市から委託を受けて、ピア・カウ
ンセリング事業を行っています。ピア・カウンセリングとは、同
じ障害を持つ仲間どうしで、情報を提供しあったり、体験を共有
し、勇気づけたり、問題を解決する手助けを行うものです。平日
の 11:00 から 15:00 までの最長 2 時間、月に 5 回まで無料で受ける
事が出来ます。詳しくは、下記へお問合せ下さい。

編集後記

今月はまだあと大きなイベントが二つあります。19日の新門
司病院の文化祭と27日のセルフヘルプ・フォーラム 2011 in 北
九州への出店です。

ウエンディでは、毎年ビーズ・アクセサリーとか本を売ります。
今年は10年ぶりにTシャツも売ります。売上よりも参加する
事に異議があるそうです。Tシャツも本も腐る物ではないので、
また来年売れ残りを出せるし、もし好評なら、他のイベントやフ
リーマーケットなんかにはチャレンジしてみるのもいいかなと思
います。

平成 23 年 11 月 18 日 波平

発行 平成 23 年 11 月 NPO 法人ウエンディ
地域活動支援センター ウエンディ本部
〒800-0043 北九州市門司区緑ヶ丘 10 番 19 号
TEL & FAX 093-391-2167

Eメール wendy21@f2.dion.ne.jp HP <http://www.wendy21.jp>